

コロラドの思い出

吉田中学校 鈴木 梨加

私は今回、9日間の姉妹都市派遣事業に参加させていただきました。コロラド州に行くまでの5回の研修では、違う学校ということもあり、ぎこちなさもありましたが、研修を通していくうちに打ち解け合いました。大変なソーラン節の練習もみんなで協力して完成することができました。この研修によって人と関わることの楽しさ、そして大切さを学ぶことができました。

コロラド州では、水族館、16番通りでのショッピング、ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ、現地の中学校の見学に派遣団のみんなと行きました。ガーデン・オブ・ザ・ゴッズではバランスロックなどとても迫力がありました。日米協会のポットラックではみんなで頑張って練習したソーラン節を披露しました。ホームステイ先の家族の人たちもとても喜んでくれました。

ホームステイ先では5日間お世話になりました。ホームステイ先の家族に会うまでは、不安な気持ちでいっぱいでしたが、とても優しい家族の人たちで安心しました。ホームステイ中は動物園やピクニック、ネイルサロン、ショッピングなどに連れて行ってくれました。ホストファミリーは英語を私たちに話すときはゆっくりと身振りをしながら一生懸命伝えてくれました。そのおかげで理解することができ、会話も弾みました。食事に関しても味付けや量など色々なことを気にかけてくれました。私が一番うれしかったことは、事前に送った自己紹介のハロウィンの写真を見て、季節外れにも関わらず、近所の方々にも声をかけてハロウィンパーティーを開いてくれたことです。私たちに仮装をしてくれて近所を「Trick or Treat」と言ってお菓子をもらいに行きました。食べきれないほどのお菓子をもらいました。私たちのためにイベントを開いてくれてとても感謝しています。ホストファミリーにはアメリカの習慣や食文化、日常生活について教えてもらいました。特に私は、普段聞いている音楽やテレビ、映画、おいしいお菓子について興味を持ちました。その中でも一緒に見た映画をもう一度日本で英語で見てみたり、オススメの音楽を聞いてみたりして英語をもっと身近なものにしていきたいです。それから、今まで苦手だった大きな犬もホームステイ先でふれあうことによって克服できました。

ホストファミリーがとても親切にしてくれたので私は帰国するのがとても寂しかったです。コロラド・スプリングス市を離れるときに、ホストファミリーも涙を流してくれました。私も泣いてしまいました。家に戻ってきた今でも、ホストファミリーのオススメの音楽を聞いたり、お菓子を食べたりするときに、思い出して寂しくなります。でも連絡を取り合って日本での生活についても話しているので、また機会があったら会いに行きたいです。

今度富士吉田市にも来てもらい、その時は私たちがおもてなしをしたいです。これらのことは姉妹都市派遣事業に参加しなければ体験することのできなかつたとても貴重な経験です。私は今回参加できたことをとても感謝しています。この経験を無駄にすることなく、将来への自信にしていきたいです。